

## &lt;全体方針&gt;

本市の地方創生を推進し、人口減少を抑制していくため、商工業や農林水産業、観光などの産業を振興する施策を展開し、雇用環境の充実や、子どもの頃から丸亀市に愛着を持ち、地元で働くことにつながる取り組みを進めるとともに、都市間の交流を促進し、本市の魅力を高める。

ゼロカーボンシティ推進のため、全庁へのCO2削減に寄与する取組の情報共有と取組推進への働きかけを行う。また、循環型社会の形成に向けて、一層の廃棄物の減量化・再資源化の取組の推進を図る。

## &lt;課ごとの指導方針&gt;

**産業観光課**

第三次丸亀市産業振興計画（2023～2027年度）に基づき、産業振興支援補助金をはじめとする中小企業振興のための各種施策を実施するとともに、企業誘致や企業の設備投資に対する支援を行うほか、部内各課と連携し、地域特産品の開発や販路拡大の取り組みを支援する。また、支援機関と連携し、創業塾やフォローアップ事業を実施することで創業支援を行うほか、生徒に地元企業の魅力を伝える産業教育や地元出身の大学生にインターンシップの事業を実施するなど、将来の担い手（労働者）の確保や雇用促進に努める。さらに、企業訪問等を通じて得られた課題やニーズを産業振興施策に反映するとともに支援策を検討するなど、事業運営がしやすい魅力あるまちづくりを進める。ふるさと納税については、専門の委託事業者のノウハウを活かしながら本市の特色ある魅力が発信できるよう、さらなる推進を図る。

本市が誇る自然・歴史・文化・食などを背景に、丸亀城を中心とした回遊型・滞在型観光を推進する。そのために、令和3年3月に策定した「丸亀市観光戦略プラン」に沿った施策を展開し、毎年度末に設定したKPIの検証と施策の見直しを行う。また、丸亀版DMOを中心に地域の稼ぐ力を引き出す観光地域づくりや国内旅行の需要創造に向けた体験型・学習型観光メニューの造成・プロモーションに積極的に取り組む。

また、関係各課、関係機関、民間団体等と連携し、丸亀うちわや骨付鳥等の丸亀ブランド（地域資源）の魅力を広くPRする。

**農林水産課**

農業については、国・県その他各種団体と連携し、多様な担い手の育成・確保や集落営農の組織化・法人化を推進し、農地集積による農地の有効活用や、農業経営の安定化に努める。農産物に被害を及ぼす有害鳥獣対策については、ICTを活用したイノシシ対策を行う等、効率的な捕獲を推進する。また、6次産業化に取り組み、新たな販路の開拓や新商品の開発による儲かる農業の推進に努める。この他、土地改良事業による農業基盤整備の充実や、豪雨災害等に対する排水対策を図るとともに、新たな農業振興地域整備計画に基づいた地域農業の振興に努める。

水産業については、重要稚仔の放流等による漁業資源の確保等に努め、安定した漁業経営を目指す。

地籍調査事業については、計画的に事業を推進し、土地をめぐる行政活動や経済活動の基礎データの整備に取り組む。

**生活環境課**



		教育を実施	実施中学校 市内全校			9月5日午後 南中学校 32社 9月10日午前 綾歌中学校 24社 9月10日午後 飯山中学校・本島中学校 25社 10月30日午前 大手前中学校・藤井中学校 29社 10月30日午後 西中学校 32社
★インターンシップの充 実 【重点プロジェクト】	●定住自立圏域での首都圏・ 関西圏大学生を対象に、イン ターンシップ事業を実施し、 雇用確保と本市への移住促進	○受入事業所 30社 参加学生数 50人 中讃圏域内採用内定数 5人	No.34	D	受入事業所27社(実施13社) 参加学生数23人(延べ33人) 採用内定数1人	
★企業立地の促進 【重点プロジェクト】	●県及び関係各課と連携した 企業立地促進奨励制度の積極 的な活用促進 ●設備投資に係る固定資産税 特例制度の積極的な活用促進	○交付予定件数3件  ○先端設備等導入計画の 認定数10件	No.35	C	交付予定件数 2件  認定件数 7件	
★地域産品の販路拡大支 援 【重点プロジェクト】	●地域特産品の開発や販路拡 大の取り組みを支援	○産業振興支援補助金 (地域産品の販路拡大支 援関連メニュー) 補助件数 5件	No.36	D	産業振興支援補助金(地域産品の 販路拡大支援関連メニュー)申請 件数 1件	
★地場・伝統産業の振興 【重点プロジェクト】	●連合会と連携した丸亀うち わのPR	○竹うちわの生産本数 年間 107万本	No.37	C	竹うちわの生産本数(未確定) 丸亀うちわ後継者育成講座開催	

		●後継者育成				11月11日～12月6日実施
★創業・第二創業の支援 【重点プロジェクト】	●創業支援等事業計画に基づく商工会議所等と連携した創業支援相談などによる創業支援の強化 ●創業塾を開催し、地域における創業者を支援 ●創業塾修了生を対象に支援機関と連携し、フォローアップ事業として異業種交流や情報交換ができる場を提供する。 ●空き店舗、空きオフィス等活用促進補助金による創業支援及び中心市街地の活性化支援	○創業相談 30件 ○創業件数 10件	No.38	C	創業相談件数 124件(累計) 創業相談人数 53人 相談後創業件数 16件	
		○年4回開催 ○参加者数20人 ○年1回開催 ○参加者数10人	No.38		創業塾 参加申込者 32人 年2回開催 参加者数 計32人	
ふるさと納税の推進 【重点プロジェクト】	●効果的なPRによる寄附件数および金額の増加。 ●定住自立圏域自治体の連携による、新たな返礼品の発掘及び開発 ●丸亀市独自の魅力的な返礼品の提供 ●「地域再生計画」の取組み事業達成のため、「企業版ふるさと納税」のPRに努め、企業との	ふるさと納税寄附件数 30,000件 ふるさと納税寄附金額 300,000千円 企業版ふるさと納税 6件 10,000千円 (令和6年度末)	No.78	B	ふるさと納税寄附件数 21,313件 ふるさと納税寄附金額 336百万円 企業版ふるさと納税 15件 5,810万円	

		マッチングを図る				
★丸亀版DMOの推進 【重点プロジェクト】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●観光データの収集</li> <li>●観光戦略の進行管理とPDCAサイクル</li> <li>●観光協会事務局機能の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光客動向調査 年4回</li> <li>○DMO懇談会・PT会議の推進</li> <li>○旅行消費額 宿泊なし 3,608円 宿泊あり 17,742円</li> <li>○来訪者満足度 35.5%</li> <li>○リピーター率 42.8%</li> </ul>	No.39	C	<p>観光客動向調査年4回5、7、9、12月実施（合計400サンプル）</p> <p>丸亀版DMO懇談会 2回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートレスと観光連携 6/14</li> <li>・観光拠点施設の活用 9/26</li> </ul> <p>リーディングプロジェクト会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニッカ青江 6/21、9/4</li> </ul> <p>宿泊なし 14,044円 宿泊あり 38,628円 来訪者満足度 27.4% リピーター率 32.8%</p>	
★回遊型・滞在型観光、広域観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●丸亀城をはじめ固有の地域資源等を活用した回遊型・滞在型、広域観光の推進</li> <li>●団体旅行、コンベンション、合宿に対する助成制度の利用促進</li> <li>●物産展、観光キャラバン等によるシティセールスの推進</li> <li>●城泊実施に向けた滞在型観光の推進</li> <li>●広域での観光博覧会の検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間入込客数 350万人</li> <li>○天守入場者数 14万人</li> <li>○年間宿泊数 60万人</li> </ul>	16-①-1	C	<p>入込客数 258.3万人（12月末）</p> <p>天守入場者数12万人（3月末）</p> <p>宿泊者数 41.9万人（12月末）</p>	

		討				
	★インバウンド対策の推進	●海外でのシティプロモーション事業の実施 ●世界の持続可能な観光地TOP100選の活用	○香港、台湾、タイ（県主催の商談会への参加）	16-④-1	C	台湾での商談2回（7/9、2/24～25）
	★多様な連携機会の充実に ★地域産品の販路拡充支援 【重点プロジェクト】	●地域イベントや県外での物産展等の開催及び地域資源PR活動 ●ブランド認定制度の活用	○県内外におけるPR活動7回（うち県内他市町との共同実施1回）	16-⑤-1 No.36	C	・桜まつり（3/27～4/10）、チャコイベント（4/6）、里山まつり（4/22）、お城まつり（5/3～4）、旬彩館（7/3～7/9）、お城フェス（8/10～12）、出張お城フェス（10/12～13）、キャナルロード（9/14～11/17）、あやうたふるさとまつり（11/2～3）、ウィンターイルミネーション点灯式（12/13）、新春フェスタ（1/13）、にぎやか村（2/1～2）、由利本荘やしま冬まつり（2/22） ・川崎ゼリア（1/17～1/19）さぬきさぬき瀬戸大橋広域観光協議会事業 ・丸亀セレクション認定品13品
農林水産課	★地籍調査事業の推進 【重点プロジェクト】	●丸亀市の全体面積111.83km <sup>2</sup> のうち、旧丸亀市地区64.65km <sup>2</sup> 、総筆数約136,000筆について、H23から23年間（島嶼部6年間を除く）で地籍調査を実施	○地籍調査の進捗率60.3% ○一筆地調査の実施【地域】 飯野町東分の一部、飯野町西分の一部、	No.19	C	○地籍調査の進捗率60.2% ○一筆地調査の実施【地域】 飯野町東分の一部、飯野町西分の一部、富屋町、本町、塩飽町、南条町。

	する	富屋町、本町、塩飽町、 南条町 面積：0.85 k m <sup>2</sup> 筆数：2,752筆			地元説明会・相談会を4日間開催し、現地調査は2班体制で実施した。
★ため池の防災対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災対策が必要な老朽化した中規模ため池について改修工事を実施する</li> <li>●防災重点農業用ため池への水位計・監視カメラ設置を推進し、監視・管理体制の強化を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ため池改修工事 4箇所</li> <li>○水位計・監視カメラ設置 5箇所</li> </ul>	—	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>ため池改修工事 4箇所 実施済</li> <li>水位計・監視カメラ 5箇所 設置済</li> </ul>
★浸水被害対策の推進 【重点プロジェクト】	●浸水被害があった水路について効果的な工法を調査し、対応が有効と判断される水路について、対策工事を実施	○排水対策工事 5箇所	No26	C	排水対策工事 5箇所 実施済
★生産基盤の強化 【重点プロジェクト】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●担い手農業者への農地集積により、農地の有効活用を図る</li> <li>●土地改良施設の整備にかかる事業費を補助し、農村環境の適切な維持管理を推</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水田の利用集積率 26.0%</li> <li>○土地改良事業の実施件数 市単独補助事業 92件</li> </ul>	No30	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>26.7%</li> <li>令和5年度より市独自の担い手への補助として「認定農業者農地集積支援事業費補助金」の事業を開始し、農地集積を図るため農地機構を通じ農地貸借を行っている。</li> <li>土地改良事業の実施件数 市単独補助事業 90件 実施済</li> </ul>

		<p>進する</p> <p>●漁協の意向に沿いながら、高価格で海域での移動が少ないなど、放流効果の高い魚種の選定</p>	<p>○重要稚仔放流量</p> <p>クルマエビ 180千尾</p> <p>ヒラメ 12千尾</p>			<p>重要稚仔放流量</p> <p>クルマエビ 180千尾</p> <p>ヒラメ 9千尾</p>
★インターンシップの充実 【重点プロジェクト】	<p>●就農相談によるインターン希望者の掘り起こし</p> <p>●インターン生受入農家の掘り起こし</p>	<p>○相談回数 5回/年</p> <p>○受入農家 1戸</p>	No31	C	<p>相談回数 15回</p> <p>新たな受入先としては0戸、受入した農家戸数は8戸</p>	
★後継者の育成・確保 【重点プロジェクト】	●関係機関と連携した担い手の確保及び経営支援	<p>○農地保有適格法人数 法人設立 1法人</p> <p>○認定農業者数 145人</p> <p>○新規就農者の認定 4人</p>	No31	C	<p>0法人 集落営農組織が、7年度に法人化するための設立準備について関係機関と連携して支援した。</p> <p>138人 関係機関と連携及び周知に努めた。</p> <p>5人</p>	
★有害鳥獣対策の強化	●有害鳥獣捕獲従事者の増員を図り、積極的な個体数調整を図る	○有害鳥獣捕獲従事者の増員 3名	—	C	島しょ部等での有害鳥獣対策の強化を目指し、令和6年度にて有害鳥獣捕獲従事者、4名増員。	
★6次産業化の支援 【重点プロジェクト】	●6次産業化マッチングバンクを活用した生産者と事業者、消費者のマッチング機会の創出及び新たな丸亀ブランド品となる新商品の開発	○6次産業化商品開発 件数 3件	No32 No36	D	1件 香川本鷹を使ったビール	
★地域産品の販路拡大	●丸亀ブランドとして確立	○物産展やイベント等	No32	C	4回	

	支援 【重点プロジェクト】	でき得る地場農水産物について、関係機関等と連携したPR活動など販路拡大に努める	の開催 2回	No.36		<ul style="list-style-type: none"> <li>・せとうち旬菜館「香川・丸亀ブランドフェア」(7/3~7/9)</li> <li>・丸亀農産物マルシェ (6/30)(3/23)</li> <li>・第19回桃喰うまつり (7/15)</li> </ul>
生活環境課	<p>★地球温暖化防止(カーボンニュートラル)の推進</p> <p>【重点プロジェクト】</p>	<p>●ゼロカーボンシティに向けた取組を全庁的に推進する。</p> <p>●再生可能エネルギーの普及促進を図る。</p>	<p>○丸亀市地球温暖化対策実行計画の進行管理(本部会開催3回/年)</p> <p>○住宅用補助件数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電システム:135件</li> <li>・ZEH設備:130件</li> <li>・蓄電システム:140件</li> <li>・V2Hシステム:5件</li> <li>・太陽熱利用システム:3件</li> <li>・EV車等:75件</li> </ul> <p>○事業者用補助件数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光、蓄電システム同時設置:10件</li> </ul>	No.13	C	<p>○丸亀市ゼロカーボンシティ推進本部会を2回実施した。</p> <p>①R6.7.2 クーリングシェルターの指定等</p> <p>②R7.1.20 R7年度ゼロカーボン関係予算等</p> <p>○住宅用補助件数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電システム:102件</li> <li>・ZEH設備:114件</li> <li>・蓄電システム:153件</li> <li>・V2Hシステム:0件</li> <li>・太陽熱利用システム:1件</li> <li>・EV車等:33件</li> </ul> <p>○事業者用補助件数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電システム:5件</li> <li>・蓄電システム:1件</li> </ul> <p>※同時設置:1件</p>
	★環境保全意識の向上	●環境に配慮した生活や社会活動を推進する。	○環境教育・環境学習の実施(5回/年)	3-①-1	C	○5月に自然観察会、8月に星空観察会を実施、また12月、2

			○環境にやさしい事業所登録：170 事業所	3-③-1,2		月にバードウォッチングを実施した。 ○環境にやさしい事業所 167 事業所。
	★高齢者交通安全対策の推進 【重点プロジェクト】	●高齢者への運転免許証自主返納支援事業の周知・啓発	○支援事業受付者数：500 人	No.29	C	○支援事業受付者数：461 人
	★交通安全教育の推進	●歩行者・自転車の安全確保対策	○教室等による啓発人数 9,000 人  ○自転車用ヘルメット購入費補助件数：2,800 人	—	D	○交通安全教室、キャンペーン等で交通安全啓発を実施した。 啓発人数：7,935 人 ○自転車用ヘルメット購入費補助件数：1,564 件
クリーン課	★廃棄物の減量化及び再資源化の推進 【重点プロジェクト】	●食品ロス削減に向け、各種取組を推進する。  ●資源ごみの拠点回収の環境を充実する。	○定住自立圏域での効果的な啓発活動の検討と取組 ○パネル展の開催等 ○コミュニティセンターでの拠点回収の拡大（廃食油等）	No.14 4-① 4-⑤	C	○定住自立圏域の市町に食品ロス削減の啓発パネル展の実施を呼び掛け、本市では市役所や市民総合センター、中央図書館などで実施し、啓発を図った。 ○給食センターと連携し、食育だよりに掲載し、啓発を図った。 ○富熊コミュニティセンターに廃食油の回収拠点を設置した。
	★プラスチックごみの分別回収の取組 【重点プロジェクト】	●プラスチック容器包装廃棄物の拠点回収を推進する。	○排出状況の調査・分析 ○市民への周知・啓発 ○先進地視察研修の実施	No.14 4-① 4-②	C	○令和6年4月から、飯山・綾歌市民総合センター、クリーンセンター丸亀に回収ボックスを設置し、使用済み食品トレイの試行的

						回収を開始した。
農業委員会事務局	★農地利用最適化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農地全筆調査により遊休農地の把握、利用意向調査の実施</li> <li>●香川県農地機構を活用した農地の集積・集約</li> <li>●丸亀市耕作放棄地解消事業の活用促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遊休農地の解消:3ha</li> <li>○事業実施件数 3件</li> </ul>	14-②-1	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農地利用状況調査の結果、再生可能な遊休農地面積は約 20 haで前年比 9.5 haの増加となった。増加した理由は、調査方法を変更(タブレット端末を導入)したことで、「見える化」により、遊休農地の実態がより正確に数値化されたことが考えられる。</li> <li>○耕作放棄地解消事業は、目標 3 件に対して活用実績はなかった。今後も農家相談や広報等で広く農業者に事業の周知を図り、遊休農地の解消に向けて活用促進に努めたい。</li> </ul>